

様式 2

## 平成 3 1 年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和 2 年 2 月 2 8 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 永幡 幸司

助成事業の区分	いずれかにチェックしてください 研究協力に関する事業 ( <input checked="" type="checkbox"/> 学会参加) 学術振興に関する事業 ( <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 事務職員)
事業名	inter-noise 2019 及び ISO/TC 43/SC 1/WG 54 会議, ISO/TC 43/SC 1/WG 62 会議
事業実施期間	令和 元年 6 月 ~ 令和 元年 6 月
成果の概要	<p>Madrid(Spain)の Palacio Municipal de Congresos de Madridで開催された inter-noise 2019(国際騒音制御学会)に参加し,“Examination of Soundscape-Quality Protocols in Japanese”と題する研究発表を行った。発表内容は次のとおりである。ISO/TS 12913-2: 2018 で提案されているサウンドスケープの印象評価尺度の日本語化を検討したところ,オリジナル(英語)で提案されている calm と uneventful は,日本語で訳し分けることが困難であること,いくつかの評価語は,日本語に翻訳することは可能であるが,評価のコンテキストによって異なったニュアンスで用いられている可能性があることがわかった。このことより, ISO/TS で提案されている尺度をそのまま日本語に翻訳したのでは,オリジナルの評価尺度の意図とは異なる尺度となってしまう可能性が高いことを指摘した。</p> <p>また,この学会期間にあわせて開催された ISO のワーキンググループに出席し,サウンドスケープ,騒音に関する国際規格について議論した。</p>